コートジボワール国月報（２０１６年４月）

|  |
| --- |
| 主な出来事【内政】●１３－１４日、ウフエ＝ボワニ大学で、学生連盟（ＦＥＳＣＩ）と警官の間で衝突が起き、学生に複数のけが人及び逮捕者が出た。●１９日、ウワタラ大統領は、和解・被害者補償委員会（ＣＯＮＡＲＩＶ）の活動報告書を受領した。アウナＣＯＮＡＲＩＶ委員長は、被害者の登録の継続、異議申し立て期間の開設、「許しの日」の制定などを提言した。【外政】●１８日、ウワタラ大統領は、ニャシンベ・トーゴ大統領、ベナンの新旧の大統領を邸宅に招き昼食を共にした。ベナンのタロン及びボニ・ベナン新旧大統領を近づけるのが目的。●２８日、国連安保理は、コートジボワールに対する武器禁輸措置等制裁を解除する決議及び国連コートジボワール活動（ＵＮＯＣＩ）のマンデートを更新する決議を全会一致で採択した。●２９日、アビジャン訪問中のル・ドリアン仏国防大臣は、ウワタラ大統領と会談後、アビジャンにおける仏軍の兵士数を現在の５００から９００人に増員する旨発表した。【経済】●７日、ダンカン首相は、サンペドロで、モロッコ系ＡＤＯＨＡ社の子会社ＣＩＭＡＦ社のセメント工場建設起工式を執り行った。総工費３００億ＣＦＡフラン（約６０億円）。同社のセメント工場は国内２件目。●２５日、ダンカン首相は、エシード・チュニジア首相と、コートジボワール・チュニジア二国間協力に関する第８回合同調整大委員会を開催した。●２６日、ガタズ代表率いる仏経団連（ＭＥＤＥＦ）がアビジャンを訪問した。ガタズ代表は、仏民間セクターのコートジボワールでの存在感を増したい意向を表明した。【対日関係】●１４日、バカヨコ内相は、アビジャン市ヨプゴン地区で、大アビジャン社会的統合促進のためのコミュニティ緊急支援プロジェクト（ＣＯＳＡＹ）パイロット・プロジェクトの道路と学校の引渡式を執り行った。 |

【内政】

・４日、コートジボワールに関する国連専門家グループは、ソロ国民議会議長（当時反乱軍の長）が、２０１０年の選挙後の危機の後、３００トンの武器と弾丸を入手していたと報告した。これらの武器・弾丸はコートジボワールの武器全体の３割を占め、武器禁輸措置を犯して国内に持ち込まれた。ソロ議長は同報告書の内容を否定している。（ランテール紙）

・１３－１４日、ウフエ＝ボワニ大学で、学生連盟（ＦＥＳＣＩ）と警官の間で衝突が起き、学生に複数のけが人及び逮捕者が出た。ＦＥＳＣＩのリーダーの逮捕を受け、ＦＥＳＣＩが集会を開こうとしたのを警察が妨害しようとしたため衝突したもの。（ランテール紙）

・１６日、３月１３日に１９名が死亡したグラン・バッサムにおける襲撃事件の首謀者の１人であるアル・ドゥンビア（３２歳、マリ人）が、バマコ（マリ）で、マリ情報機関の特殊部隊によって逮捕された。クンタ・ダラーにつぐ同襲撃事件首謀者のＮｏ．２と見なされる人物。（フラテルニテ・マタン紙）

・１９日、ウワタラ大統領は、和解・被害者補償委員会（ＣＯＮＡＲＩＶ）の活動報告書を受領した。アウナＣＯＮＡＲＩＶ委員長は、被害者の登録の継続、異議申し立て期間の開設、「許しの日」の制定などを提言した。（フラテルニテ・マタン紙）

・２０日、閣議で、防衛・治安部隊の作戦能力強化、とりわけインテリジェンス部門の強化のための措置が決定された。同措置には総額８００億ＣＦＡフラン（約１６０億円）が投入される（フラテルニテ・マタン紙）

・２１日、最高裁判所は、バグボ元大統領夫人を人道に対する罪で裁くことを決定した。控訴院の重罪起訴部によって重罪裁判所に移送されていた同夫人は、破棄院に上告していたが、３月１７日に棄却され、再度の上告後、最高裁判所でも棄却されたもの。（Ａｂｉｄｊａｎ．ｎｅｔ（インターネット））

・２８日、ワガドゥグ破棄院は、コンパオレ元ブルキナファソ大統領及びソロ国民議会議長に対する国際逮捕状を取り消した。逮捕状を発出する前に軍事裁判所の法務官（検事）に論告を依頼するべきであったにも関わらずこの手続きをせず、手続きに不備があったことが理由。（フラテルニテ・マタン紙）

・３０日、ウワタラ大統領は、２４日、遊牧民と農民との間の争いによって多数の死者を出した北東部ブナ市を訪問した。争いをなくすため、牧畜用ため池の改修・新設、牧草地の整備、移牧道の整備、牧畜用柵（総額１０億ＣＦＡフラン（約２億円））、市場再建（３億５０００ＣＦＡフラン（約７０００万円））を約束した。（フラテルニテ・マタン紙）

【外政】

・２日、ウワタラ大統領は、イスフ・ニジェール大統領（再選）の宣誓式及び就任式に出席した（フラテルニテ・マタン紙）

・６日、ウワタラ大統領は、ダドリッジ英外務政務次官と会談した。同次官は、コートジボワールの経済成長に祝意を表するとともに、農業、とりわけ農産品の加工分野でコートジボワールと協力したい意向を示した。（フラテルニテ・マタン紙）

・１１日、ウワタラ大統領は、パリで「２０５０年の世界」をテーマに開催された新興国市場フォーラムの開会式に参加した。同フォーラムのマージンでは、ケーラー元独大統領（元IMF専務理事）、オディンガ元ケニア首相らと会談した。（フラテルニテ・マタン紙）

・１３日、ウワタラ大統領は、トルコで開催された第１３回イスラム協力機構首脳会合に参加した。ウワタラ大統領は、自分たちはテロリズムに反対であり、イスラム教は平和の宗教であることをはっきり表明するため今次会合に参加したと述べた。（フラテルニテ・マタン紙）

・１４日、ソロ国民議会議長は、ユ中国人民政治協商会議全国委員会主席と会談した。同主席は、コートジボワール国民議会に１億８０００万ＣＦＡフラン（約３６００万円）を寄付した。今回のアビジャン訪問の目的は、コートジボワール・中国二国間の友好関係の向上、ヨハネスブルクでの二国間関係に関する同意の具体化及び中国‐アフリカ協力サミットで中国国家主席が提案した、１０の中国・アフリカ協力プログラムの推進。（フラテルニテ・マタン紙）

・１６日、ウワタラ大統領は、コエンダース蘭外相兼ＥＵ外相協議会議長（元ＵＮ事務総長特別代表）と会談し、移民問題に関し、コートジボワール・ＥＵ間の公平なパートナーシップの重要性について協議した。（フラテルニテ・マタン紙）

・１８日、ウワタラ大統領は、ニャシンベ・トーゴ大統領、ベナンの新旧の大統領を邸宅に招き５時間に渡り昼食を共にした。ウワタラ大統領、ニャシンベ大統領の発案によるもので、ベナンのタロン及びボニ・ベナン新旧大統領を近づけるのが目的。（アビジャン発ＡＦＰ電、フラテルニテ・マタン紙）

・２２日、ウワタラ大統領は、ニューヨークで気候変動に関するパリ協定に署名した。（フラテルニテ・マタン紙）

・２８日、国連安全保障理事会は、コートジボワールに対する武器禁輸措置等制裁を解除する決議及び国連コートジボワール活動（ＵＮＯＣＩ）のマンデートを更新する決議を全会一致で採択した。ＵＮＯＣＩのマンデートは２０１７年６月３０日まで延長される。（フラテルニテ・マタン紙）

・２９日、アビジャン訪問中のル・ドリアン仏国防大臣は、ウワタラ大統領と会談後、アビジャンにおける仏軍の兵士数を現在の５００から９００人に増員する旨発表した。当地仏軍基地を前線作戦基地とするための編成の一環。（フラテルニテ・マタン紙）

【経済】

・７日、ダンカン首相は、サンペドロ（南西部）で、コートジボワールと世銀の融資による複数のインフラ整備案件の竣工式を行った。道路、公共照明、保健センター等、総工費１２７億ＣＦＡフラン（約２５億円）。これらの工事はコートジボワール・インフラ再生緊急プロジェクトの一環。（フラテルニテ・マタン紙）

・７日、ダンカン首相は、サンペドロで、モロッコ系ＡＤＯＨＡ社子会社のＣＩＭＡＦ社のセメント工場建設起工式を執り行った。総工費３００億ＣＦＡフラン（約６０億円）。同社のセメント工場は国内２件目であり、年生産量は２工場で２００万トン、国内総生産量の４割を占める見込み。（フラテルニテ・マタン紙）

・２０日、セール仏大使は、大使公邸において、４５名の教員、研究者に奨学金の証明書を手交した。また、高等教育機関の責任者は、仏提携大学からの３０の支援ミッションの恩恵を受ける。「コートジボワール・グランゼコール・大学の近代化・改革支援計画（Amruge-CI）」の一環。本案件の総額は１７億ＣＦＡフラン（約３億円）。（フラテルニテ・マタン紙）

・２１日、ウロト都市衛生・排水大臣は、アビジャンで、ビル＆メリンダ財団と、３年間のプロジェクト「汚泥処理契約の構造化プログラム」に関する２５億ＣＦＡフラン（約５億円）の合意に署名した。同プロジェクトは、汚泥処理に新たな技術を組み入れ、民間セクターを参加させ、収益をもたらすセクターとすることを目指すもの。（ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙）

・２５日、ダンカン首相は、エシード・チュニジア首相と、コートジボワール・チュニジア二国間の協力に関する第８回合同調整大委員会を開催した。二国間の貿易額は２０１０年の２２４億ＣＦＡフラン（約４５億円）から、２８１億ＣＦＡフラン（約５６億円）に増加している。（フラテルニテ・マタン紙）

・２６日、ダンカン首相は、ガタズ代表率いる仏経団連（ＭＥＤＥＦ）と会談した。ダンカン首相は、仏企業に対し、９％という高い経済成長、ＧＤＰの２０％以上の投資率のコートジボワールへの投資を呼びかけた。ガタズ代表は、コートジボワール経団連（ＣＧＥＣＩ）との共同会議で、仏民間セクターのコートジボワールでの存在感を増したい意向を表明した。２８日、ガタズ代表らは、ウワタラ大統領に謁見した。（フラテルニテ・マタン紙）

【対日関係】

・１４日、バカヨコ内相は、アビジャン市ヨプゴン地区で、大アビジャン社会的統合促進のためのコミュニティ緊急支援プロジェクト（ＣＯＳＡＹ）パイロット・プロジェクトの道路と学校の引渡式を執り行った。同プロジェクトは、行政や市役所の能力強化、ヨプゴン、アボボ地区で住民同士の相互理解が深まることを目指すもの。案件総額は２７億ＣＦＡフラン（約５．４億円）。（フラテルニテ・マタン紙）